

研究会開催通知

(昭和56年9月15日～10月31日)

研究会	日	時	会場	備考
人工知能と対話技法	9月18日(金)	13:00～16:30	電総研	前号参照
ソフトウェア工学	9月21日(月)	13:30～17:00	機械振興会館	同上
自然言語処理	9月24日(木)	11:00～16:00	電総研	同上
コンピュータビジョン	9月24日(木)	10:00～17:30	全特会館	同上
マイクロコンピュータ	9月25日(金)	13:00～17:00	京大	同上
計算機システムの解析と制御	9月25日(金)	13:30～17:00	第32森ビル	同上
記号処理	10月13日(火)	13:30～17:00	同上	下記参照
コンピュータ・グラフィクス	10月13日(火)	13:00～17:00	同上	同上
電子装置設計技術	10月20日(火)	14:00～17:00	機械振興会館	同上
日本文入力方式	10月21日(水)	13:30～17:00	同上	同上
計算機アーキテクチャ	10月29日(木) 10月30日(金)	13:30～17:00 8:30～12:00	東北大	同上

◆ 第18回 記号処理研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 池野信一, 代表幹事: 黒川利明, 中西正和, 横井俊夫)

日時 昭和56年10月13日(火) 午後1時半～5時
会場 第32森ビル 地下2階第二会議室
〔東京都港区芝公園 3-4, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電: 浜松町下車, バス: 渋谷ー東京タワー線東京タワー, 等々力ー東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, 機械振興会館並び浜松町寄り徒歩1分, 東京タワー向い. Tel. 03 (591) 1351 (大代表)〕

- 議題 (1) イオタ入門
湯浅太一, 小島啓二, 柴山悦哉, 中島玲二, 萩野達也 (京大・数理研)
本田道夫 (香川大・経)
- 〔概要〕 イオタ・プログラミング・システムの概要をデモンストレーションを中心として紹介する.
- (2) 終結式計算アルゴリズムと判別式の計算
佐々木建昭 (理研), 金田康正 (東大・大型センター), 渡辺隼郎 (津田塾大)
- 〔概要〕 終結式の計算法として, Bezout の方法と同程度の計算量をもち, プログラムの容易な方法を提案する. その方法を判別式計算に応用し, 9次までの方程式の判別式を計算した.
- (3) SYMSAC '81 の報告

金田康正（東大・大型センター）、村尾裕一（東大・理）、
佐々木建昭（理研）、渡辺隼郎（津田塾大）

〔概要〕 本年8月上旬に米国ユタ州スノーバードで開催された記号代数計算シン
ポジウムについて報告する。

◆ 第3回 コンピュータ・グラフィクス研究会

（発表件数：4件）

（主査：穂坂 衛，代表幹事：井越昌紀，木村文彦，松家英雄）

日 時 昭和56年10月13日（火）午後1時～5時

会 場 第32森ビル 地下2階第一会議室 （所在地は前記参照）

議 題 (1) 局所変形操作による立体モデルの生成とその自由形状設計への応用
千代倉弘明，木村文彦（東大・工）

〔概要〕 局所変形操作による複雑な立体モデルの生成手法と，それに基づく多面
体からの自由形状創成について述べる。

(2) 図形表示にともなう不自然濃淡不連続線の除去

西原清一，池田克夫（筑波大・電子情報）

〔概要〕 濃淡画像のディスプレイ時に不自然な不連続線が表われることがある
が，これは表示しうる濃度階調が離散的なためである．本報告はこれの除
去法を論ずる。

(3) ACM-SIGGRAPH 81 報告

安田寿明（電機大・工）

〔概要〕 表題会議およびアメリカにおけるコンピュータ・グラフィクスの現状に
ついて報告する。

(4) Eurographics 81 および IFIP Working Conference CAD Data Bases 報告

穂坂 衛（電機大・工）

〔概要〕 表記会議および欧州におけるコンピュータ・グラフィクスやCAD/CAM
の現状について報告する。

◆ 第10回 電子装置設計技術研究会

（発表件数：3件）

（主査：山田昭彦，代表幹事：上田 勤，和田 康）

日 時 昭和56年10月20日（火）午後2時～5時

機械振興会館 地下3階1号室

会 場 〔東京都港区芝公園 3-5-8，地下鉄：日比谷線神谷町，浅草線大門，三田線御成
門下車，国電：浜松町下車，バス：渋谷－東京タワー線東京タワー，等々力－東
京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車，Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) パイプライン計算機設計支援システム (PSDS)

小栗 清，仲西秀基，田尻和夫，進藤 章，中村行宏（横須賀通研）

〔概要〕 同時刻に複数の処理主体が存在するパイプライン構造の計算機を設計す
るための記述言語，コンパイラ，シミュレータ，ゲート展開プログラム等
のシステムの考え方について述べる。

(2) LSI アートワーク情報の電氣的接続検証システム

—SIMPLE PALMS—

藤岡督也, 西口信行, 森 邦雄, 岸本有豊, 高橋節夫, 川西 宏 (日電)
〔概要〕 LSI のア트워크情報から検出できる電氣的な接続関係をチェックするシステム: SIMPLE PALMS の概要を述べる.

(3) 順序回路のタイミング・ベリファイア (SIMCHK)

荻原拓治, 松下浩明, 村井真一 (三菱)

〔概要〕 LSI のレイアウト後の配線長とファンナウトを考慮した実装ディレイシミュレーション結果を入力とし, 回路中に潜在するレース, ハザード, スパイク等のタイミングエラーを自動チェックする.

◆ 第1回 日本文入力方式研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 高橋秀俊, 代表幹事: 藤崎哲之助, 山田尚勇)

日 時 昭和 56 年 10 月 21 日 (水) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 英文キーボードによる日本文の入力について,

細川寿子, 坂内祐一, 竹中駿平 (キャノン)

〔概要〕 日本文の入力について, ローマ字表記による入力法と, 他の入力法の比較検討を行ったので報告する.

(2) 邦文タイプライタ盤面配列をとり入れた日本語 WP 用ペンタッチキーボード

伊藤英俊, 市川昭雄 (日電)

〔概要〕 日本語 WP 用に邦文タイプライタに類似した 3 種類の盤面配列のペンタッチキーボードを開発した. このキーボードに関し邦文タイプライタとの比較, タイピストの意識, 反応について報告する.

(3) 2 ウェイキーボード日本文入力方式

中山 剛, 大島義光, 黒須正明, 藤方健二, 中島 晃 (日立・中研)

〔概要〕 表示選択方式とカナコード (記憶コード) 方式を組合わせた 2 ウェイ入力方式開発の人間工学的基礎を報告する.

◆ 第35回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 10件)

(主査: 石井 治, 代表幹事: 有澤 博, 内田俊一)

日 時 昭和 56 年 10 月 29 日 (木) 午後 1 時半～5 時

10 月 30 日 (金) 午前 8 時半～12 時

会 場 東北大学工学部 電気情報館 311 号室

〔仙台市荒巻字青葉, 国鉄: 仙台駅下車, バス: 工学部行 (駅前青葉通り日立ショールーム前より乗車) 約 15～20 分, Tel. 0222 (22) 1800 ex. 4340〕

議 題 10 月 29 日 (木)

(1) 関数型データフロー計算機システム

伊藤敏美, 斉藤恒雄, 星子幸男 (東北大)

〔概要〕 機能ユニットまでは関数性を徹底したモジュール構造のデータフロー計

算機について、各部の構成法、ハードウェア、ソフトウェアについて述べる。

(2) リスト処理向きデータフローマシン用構造体メモリの設計と評価

中村 修, 長谷川隆三, 雨宮真人 (武蔵野通研)

〔概要〕 データフローマシンで、リスト構造データを処理するための構造体メモリの1方式を提案し、そのハードウェア構成と特徴について述べる。

(3) リダクションマシンの構想について

小長谷明彦, 山本昌弘 (日電)

〔概要〕 リスト処理などの非数値処理を対象とした高機能メモリをベースとするデータ駆動型リダクション・マシンの概要を述べる。

(4) フィード・フォワード計算機の性質について

金井 敦, 中村維男, 重井芳治 (東北大)

〔概要〕 フィード・フォワード計算機の性質ならびにその応用について理論的検討を行う。

(5) ブロードキャスト・メモリ結合型並列計算機システムの試作

金田悠紀夫, 前川禎男 (神戸大)

〔概要〕 試作中の並列計算機システムについて論じる。本システムは数値計算の高速、低コスト化を目指しており、Intel 8086 4ユニットをブロードキャスト・メモリで結合した構成である。

10月30日(金)

(6) パイプラインの負荷分散制御について

九萬原敏巳, 中村維男, 重井芳治 (東北大)

〔概要〕 パイプライン方式でスループットを制限するボトルネックとなるステージの負荷を軽減し、全ステージに負荷を分散する方法を検討する。

(7) マルチマイクロプロセッサの応用

—並列パイプライン・モジュール PPM—

阿江 忠, 相原玲二, 飯田 優, 佐藤輝久 (広島大)

〔概要〕 マルチマイクロプロセッサを実用化するひとつの構造として、並列パイプライン構造を提案し、モジュールとしての実験結果と応用範囲について述べる。

(8) 階層ルーチング・バスとその応用

有田五次郎, 末吉敏則 (九大)

〔概要〕 計算機間結合用トリー構造バスを用いた方式を提案し、マイクロコンピュータを結合したシステム例について述べる。

(9) VLSI 上における複線バス方式とそのふるまい

長谷川誠, 中村維男, 重井芳治 (東北大)

〔概要〕 複線バス方式を VLSI 上で実現するための手法, 利点, 問題について検討する。またその性能評価を行い、個別部品によって実現する場合との差異を明らかにする。

(10) コンパイラ最適化とアーキテクチャとの関係についての一考察

杉山和弘, 武藤 裕, 葛山善基 (横須賀通研)

〔概要〕 複数アーキテクチャに対してコンパイラを汎用的に作成する方式について考察し、開発した結果を述べる。

＊ 今回の研究会は、電子通信学会電子計算機研究会と共催で開催いたします。上記の会告は8月17日現在の申込によるもので、それ以後の申込みを含めたプログラムは電子通信学会誌9月号に掲載されますのでご了承下さい。

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム

開催のお知らせ

—設計・診断・研究開発・意思決定のツールとして—

前号本欄でお知らせしました標記のシンポジウムを行います。詳しいプログラムについては応募論文の審査決定次第掲載いたします。

なお、定員に制限がありますので、早目にお申込みください。

日 時 昭和56年12月9日(水)、10日(木) 9:00~17:00

場 所 機械振興会館大ホール(地下2階)

参加費	会 員	10,000 円
	非 会 員	15,000 円
	学生会員	5,000 円

申込締切 昭和56年11月30日(月)

第24回(昭和57年前期)全国大会の開催について

昭和57年春の第24回全国大会は下記により開催されます。

つきましては、次回本欄に一般講演申込み要領をお知らせいたします。論文申込の締切りは11月末となる予定ですので、ご留意ください。

記

日 時 昭和57年3月22日(月)、23日(火)、24日(水)

会 場 東京電機大学7号館(東京都千代田区神田錦町)

受付 No. _____

昭和 年 月 日

「アドバンスト・データベース・システム」シンポジウム
参 加 申 込 書^(注1)

申込者 氏名 _____ 会員 No. _____

連絡先 〒 _____

Tel. _____

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参 加 費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員^(注2) 10,000 円

非 会 員 15,000 円

学 生 会 員 5,000 円

○送 金 方 法

_____円を 月 日送金します (金額, 送金月日を記入の上該当する
送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留 (同封)

b. 銀行振込 第一勧業銀行虎ノ門支店 1-013-945 三菱銀行虎ノ門支店 0000608
住友銀行虎ノ門支店 (東京公務部) 10899 三井銀行本店 4298739
富士銀行虎ノ門支店 993632
名義人 社団法人 情報処理学会

請求書類の必要な方はお申出ください。 (No.)

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

その他 (連絡事項をご記入下さい)

(注) 1. 申込書は1枚1人として下さい。 (この用紙をコピーしたものでも可)

2. 本学会賛助会員は1口1人として正会員に準じます。

情報処理学会第 23 回（昭和 56 年後期）全国大会参加について

一般参加の方へ

1. 総 受 付 東京大学工学部 11 号館（プログラム 28 ページ参照）
（1） 特別・招待講演，パネル討論（工学部 2 号館大講堂）
（2） 一般講演（工学部 1， 2， 3， 5， 6， 8， 11 号館）
2. 参 加 費 会 員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）
非会員 2,000 円
3. 論 文 集 代 定 価 5,500 円（予約価 4,500 円）
（当日，予約者以外にお頒けできるのは，残部のある場合に限りま
す。）
4. 論文集予約 予約（9 月 21 日締切）を原則としますので，7 月号綴込みの申込書
をご利用ください。

◎参加される方は，一般受付にて参加費を納め，参加章を受けとってください。会
期中は，参加章を胸につけないと会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は，講演の始まる前に，必ず各セッション会場前の講演者受付で，出席の確
認を受けてください。
2. 講演者は，おそくとも自分の前の講演者の講演時間中には，座長席の前に設けられ
た「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は，質疑を含めて，15 分を原則とします。したがって時間内に充
分に講演の主旨を伝えられるように，事前の準備をお願いします。講演中でも時間
がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。
6. 補助教具として，OHP が使えます。OHP に使う原図は説明の文字や線・点はな
るべく簡潔に書き，よく判読できるよう準備してください。なお，掛図（3 枚以内）
は，各自で黒板に止めてください。

その他の一般注意

1. 昼食は中央食堂，学生食堂が利用できます。レストルーム（8 館号 81 号室）が準備
してあります。
2. 電話の呼び出しはいたしません，万止むを得ない場合のみ，下記の電話を利用し
てください。（掲示のみいたします。）
Tel. 03 (812) 2111（内線 7620）
3. 駐車場はありませんので，自家用車による参加は厳禁します。